別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	（法人にあっては名称） 中央化学株式会社	住所	（法人にあっては主たる事業所の所在地） 〒 365-8603 埼玉県鴻巣市宮地３丁目５番１号
本票作成	部署名：岡山工場 生産技術課		
主たる業種	分類コード 18	業種名：プラスチック製品製造業	
事業の概要	プラスチック食品容器製造		

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	美作市北山３２１番地
	②	西日本ハブセンター	美作市竹田１４５－２５番地

特定事業者の該当要件	☑ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 □ ②ﾊﾞｽ・ﾄﾗｯｸ100台、ﾀｸｼｰ250台以上 □ ③CO_2換算3,000t以上 （●工場等の数 2 所 ●車両台数（②該当の場合） 台）

計画期間	令和 6 年度 ～ 令和 7 年度 （ 2 箇年度）								
削減目標	いずれかを選択	□ 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		☑ 原単位基準	2.0 %						○

温室効果ガス排出量	基準年度（令和 5 年度）	目標年度（令和 7 年度）
	4,370 t CO_2	4,283 t CO_2

基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	基準年度（令和 5 年度）の排出量
	①	岡山工場	4,310 t CO_2
	②	西日本ハブセンター	60 t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2

※ 「計画期間」欄には，５箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

（原単位基準の削減目標を選択した場合に記入）	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量 基準年度	原単位当たり排出量 目標年度
	生産重量（t）	276 kg CO_2 / （ t ）	270 kg CO_2 / （ t ）

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値（令和 5 年度）	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・CO_2排出量削減に向け、再エネ電力の調達・J-クレジット等の検討は始めていますが、具体的な方針が定まっていない為、ひとまず目標年度を2年と設定し省エネ法の原単位目標としている、年1.0%削減を目標と定めました。

【目標削減率達成のための推進体制】

毎月、省エネ委員会を開催し使用電量の共有、効率的稼働の検討。
ISO14001取得 環境管理委員会にて動力原単位の改善を目標とし、目標達成に向け取組を実施。
全社合同で部署毎に改善チームを発足し、生産性向上に向けた取組を実施。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	・2019年 インバータ式真空ポンプ1台 導入 ・2022年 押出機3台 高効率モーターへ更新 ・2023年 成型機毎に電力監視装置を設置し、電力分析 ・2023年 チラーユニット1台 インバータ式へ更新（CO_2削減量 64t/年） ・2022年～2023年 高効率変圧器への更新4台（CO_2削減量 16t/年） ・水銀灯・蛍光灯をLED灯へ更新 ・バッテリー式フォークリフト導入
西日本ハブセンター	・2019年 倉庫棟水銀灯をLED灯へ更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山工場	・2024年 高効率変圧器への更新3台（CO_2削減量 4t/年） ・工水ポンプのインバータ化 ・成型棟屋根の断熱or遮熱or放熱の検討、空調の効率UP
西日本ハブセンター	・2024年 事務所棟の蛍光灯をLED灯へ更新

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	有	太陽光設置を検討したが建屋強度不測の為、断念。再生可能エネルギー電力の購入を検討中。

【その他特記事項】

当社の温室効果ガス排出量削減に向けた取組
・PET製品の100%リサイクル素材化（2030年度目標）
・環境配慮型素材・製品の開発
・機能製容器の販売数量増加（2020年度比 8倍　2030年度目標）

岡山工場
・岡山県ゼロエミッション事業所認定
・外部業者による省エネ診断実施